

第34回 福岡県医学検査学会

～ 臨床検査の施設認証と医療安全 ～

会期：2025年7月27日（日）9：00～

会場：九州大学医学部 百年講堂

福岡県福岡市東区馬出3-1-1

プログラム

シンポジウム1：『なぜ施設認証を目指すのか？』
オーガナイザー：池上新一

シンポジウム2：『医療安全はどこまで実施する？』
オーガナイザー：生田幹博

一般演題：募集中（40演題）



韓国京畿道病理士会との交流事業

企業セミナー、企業展示



学会長：大久保文彦（九州大学病院）

実行委員長：生田 幹博（福岡大学筑紫病院）

事務局長：緒方 昌倫（公立学校共済組合 九州中央病院）



一般社団法人

福岡県臨床衛生検査技師会

Fukuoka Association of Medical Technology

プログラム

シンポジウム1：『なぜ施設認証を目指すのか？』

オーガナイザー：池上新一

企画概要

臨床検査室が施設認証を取得する目的は、検査結果の正確性や信頼性を高め、臨床的に良質な検査を提供するためです。日臨技品質保証施設認証制度やISO15189施設認証では共通する部分も多くありますが、施設によって運用はさまざまです。本シンポジウムでは、日臨技品質保証施設認証制度が求めている

- 1) 標準作業書、作業日誌、および台帳等の整備について
- 2) 毎日の内部精度管理の方法、また外部精度管理はどの程度必要であるか、外れた時の是正措置の方法は？
- 3) 人材育成について

それぞれの立場での各施設の工夫について情報提供いただき、日常運用の参考になればと思います。

シンポジウム2：『医療安全はどこまで実施する？』

オーガナイザー：生田幹博

企画概要

臨床検査分野における医療安全の意識は高く、各施設で様々な取り組みが実施されていますが、検体取違い、患者間違いなど後を絶ちません。臨床検査技師は、信頼のある検査結果を臨床に報告することで臨床医は安心して診断や治療を行うことができます。今回、臨床検査の工程を検査前、検査、検査後の3つに区分し、それぞれで発生しやすいインシデント、アクシデント、および実施すべきこと、省いても良いこと等各施設の工夫や最新の情報を共有し整理したいと思います。



一般社団法人

福岡県臨床衛生検査技師会

Fukuoka Association of Medical Technology